

学校だより

伊豆市立熊坂小学校
第9号
平成29年10月27日発行

平成29年度学校教育目標『気づき 考え やり抜く子』

重点目標 ・すすんでやります やりぬきます
合い言葉 ・明るいあいさつ きれいな学校

～全国学力・学習状況調査の結果～

本学校だよりは、平成29年4月18日（火）に実施した「全国学力・学習状況調査」結果の特集です。調査の目的は、児童の学力や学習状況の現状を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、児童への指導の充実や学習状況の改善に役立てることです。

【調査の概要】

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

① A問題「主として『知識』に関する問題」 ② B問題「主として『活用』に関する問題」

(2) 質問紙調査「学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等」

本校の平均正答率は、国語のA問題が全国及び静岡県平均正答率を上回りましたが、国語B、算数A・Bは下回りました。

以下に、「児童が得意としている、あるいは苦手としている設問」「児童の学習への取組や生活の様子はどのような傾向にあるか」などを記載します。（記載した設問や質問は、複数の中から抜粋）設問の記載に当たっては、国立教育政策研究所HPよりダウンロードした「平成29年度全国学力・学習状況調査」の調査問題を転載・複製しています。

【国語】

◎本校正答率が良かった設問（国語A）

A5 吉川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次のア・イ に入ることわざの使い方の例として最も適切なものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

三度目の正直

（意味）一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ。

（使い方の例） ア

- 1 どんなに得意なことでも、時には失敗することもあるよ。 三度目の正直だよ。
- 2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。 三度目の正直だね。
- 3 一本めと二本めのシュートは外れたけど、次は決まるよ。 三度目の正直だよ。

◎今まで学んだ「ことわざ」の意味を理解し、自分の表現に用いることができています。

◎本校正答率が全国平均正答率に至らなかった設問（国語B）

B3 三【話し合いの様子の一部】の中 B のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。
次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- の横山さんのように【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

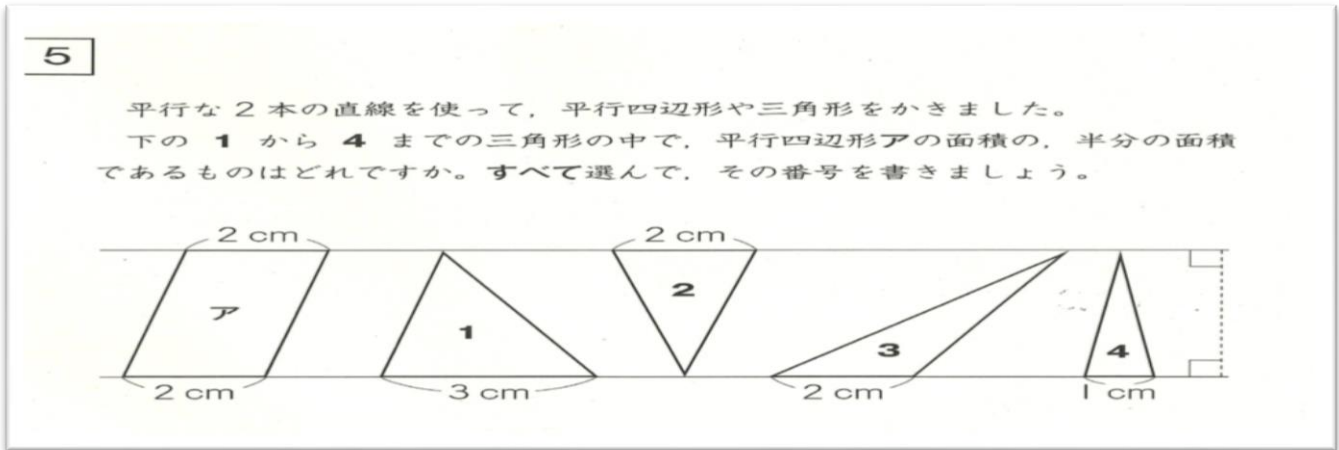
▲ 叙述を基に自分の考えを条件（三つ）に添ってまとめることができていませんでした。



対策) 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く指導を行います。

【算数】

◎本校正答率が全国平均正答率に至らなかった設問(算数A)



△ 底辺の長さが高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形においては、図形の向きや形に依存せずに、三角形の面積は平行四辺形の面積の半分だということを理解できていませんでした。



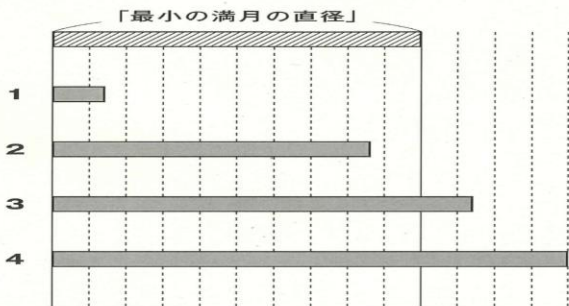
対策) 面積の公式を覚えるだけでなく定義そのものを理解できるような学習活動を取り入れます。

◎本校正答率が全国平均正答率に至らなかった設問(算数B)

5 月は、地球のまわりを回りながら、～中略～「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約14%長いです。

(1) 「最小の満月の直径」を , 「最大の満月の直径」を として、図に表します。
 「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が14%長いことを表しているものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

△ 示された割合を解釈して、基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えることができていませんでした。



対策) 日常生活の事象を割合を活用して分かりやすく解釈し説明する活動を取入れます。

【児童質問紙】(学校や家での勉強や生活の様子について尋ねるものです)

◎本校で「当てはまる」の回答者率が全国回答者率を上回った質問

- Q: 朝食を毎日食べていますか。
- Q: 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- Q: 家で、学校の宿題をしていますか。
- Q: 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- Q: 友達との約束を守っていますか。

▲本校で「当てはまる」の回答者率が全国回答者率を下回った質問もしくは課題となること

- Q: 1日当たりどれくらいどのくらいテレビ・DVDをみますか。(4時間以上)
- Q: 地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか。
- Q: 読書は好きですか。

質問紙からは、学習にたいする意識の高さなどがうかがえます。今後は、子どもたちの自尊心を高め、本の魅力や学ぶ意義を実感できるよう、読書活動や魅力ある授業づくりに取り組み、学校と家庭や地域が連携して、児童の育成を図っていきたいと思います。